

看護共通技術	1年・前期	1単位 30時間	教授 箕輪 千佳 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110511

### 1. 授業のねらい・概要

看護技術論で学んだ看護援助に共通する基本技術の知識を基に観察，人間関係，安全，安楽，教える，自立の技術を演習を中心に学習する。また，看護者としての基本的な態度・姿勢について考え，身につけていく。

### 2. 学修の到達目標

1. 科学的根拠や留意事項を理解した上で，手指衛生を実施できる。(D-2)
2. 科学的根拠や留意事項を理解した上で，基本的なベッドメイキングとベッド周囲の環境整備を実施できる。(D-2)
3. 科学的根拠や留意事項を理解した上で，ベッド上での体位変換を安全安楽に実施できる。(D-2)
4. 看護学生としてふさわしいユニフォーム着用と身だしなみができる。(D-2)
5. 科学的根拠や留意事項を理解した上で，各種リラクゼーション法を実施できる。(D-2)
6. 科学的根拠や留意事項を理解した上で，事例に沿った臥床患者のシーツ交換を安全安楽に実施できる。(D-2)
7. 科学的根拠や留意事項を理解した上で，事例に沿った車いすやストレッチャーへの移乗，移送を安全安楽に実施できる。(D-2)
8. 実施した看護技術を振り返り，自己の課題を述べることができる。(D-2)

### 3. 授業の進め方

学生2～4人でグループ編成し，交互に患者・看護者・観察者となって技術演習を実施する。実施した技術や患者体験についてグループ討議を行い，演習記録を作成する。適宜，学生による患者モデルやデモンストレーション，課題発表などの機会を設ける。感染予防対策を十分に取って進める。

#### 【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして，事前学習型授業，反転授業，グループワーク，体験型学習，リフレクション，レポートを用いる。

#### 【ICT活用の実施の有無】

ICT活用の実施：Classroom等による学習課題の提示，メールによる質問等の受付，web配信「ナーシングチャンネル」の活用等。

### 4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	ガイダンス NSTCの使用法	講義	予習：テキストの「看護技術の根拠をなすもの」を読む。 復習：授業資料，シラバス，NSTC使用ガイド 2026 を読み授業内容を振り返る。	箕輪千佳

			レポートを記入する。	
2	感染防止の基礎知識・標準予防策	講義	予習: テキストの「感染防止の基礎知識」「標準予防策」を読む。 復習: 授業資料とテキストを基に授業内容を振り返る。	箕輪
3	手指衛生	演習	予習: テキストの動画「流水による手洗い」「手指消毒」「マスクの着用方法」を視聴する。 復習: 演習のまとめを記載する。 「流水による手洗い」「手指消毒」「マスクの着用方法」の技術を練習する。	箕輪, 他
4	ベッド周囲の環境 ベッドメイキング	講義	予習: 看護技術論第2回「病室の環境のアセスメント」の授業資料を復讐する。 テキスト「基礎看護技術Ⅱ」の「環境調整技術」p10～p24を読む。 復習: 授業資料とテキストを基に授業内容を振り返る。	箕輪
5	ベッドメイキング	演習	予習: 事前課題を記載する。 復習: まとめレポートを記載する。 授業で配布したチェックリストを基にベッドメイキングの技術を練習する。	箕輪, 他
6	体位変換・安楽な体位	演習	予習: 看護技術論第3回「体位変換・ボディメカニクス」, 第4回「安楽な体位」の授業資料を振り返る。 テキストの動画「体位変換」を視聴する。 テキスト「基礎看護技術Ⅱ, 第4章活動・休息援助技術 基本的活動の援助①②」を読む。 復習: まとめレポートを記載する。 体位変換, 安楽な体位の技術練習をする。	箕輪, 他
7	ユニフォームの着用身だしなみ 技術チェックオリエンテーション	講義	予習: 「NSTC使用ガイド2023」の身だしなみについての部分を読む。 復習: 看護教育入門第4回の授業資料を読み, 臨地実習時の心構えを復習する。	箕輪
8	安楽確保の技術 (リラクゼーション法)	講義	予習: テキスト「基礎看護技術Ⅱ, 第4章活動・休息援助技術 睡眠・休息の援助」を読む。 復習: 授業資料を基にセルフリラクゼーションの技術を練習する。	箕輪
9	臥床患者のシーツ交換①	演習	予習: 事前課題を記載する。 テキストの動画「リネン交換」「体位変	箕輪, 他

			換」を視聴する。 復習：授業で配布したチェックリストを 基に、臥床患者のシーツ交換の技術を練 習する。	
10	臥床患者のシーツ交換②	演習	予習：テキストの動画「リネン交換」「体 位変換」を視聴する。 復習：まとめレポートを記載する。 授業で配布したチェックリストを基に、 臥床患者のシーツ交換の技術を練習す る。	箕輪，他
11	看護技術チェック	演習	予習：技術チェックの評価表を基にベッ ドメイキングの技術を練習する。 復習：授業時に配布した身体各部の名 称，国家試験問題を復習する。	箕輪，他
12	看護技術チェック	演習	予習：技術チェックの評価表を基にベッ ドメイキングの技術を練習する。 復習：授業時に配布した身体各部の名 称，国家試験問題を復習する。	箕輪，他
13	移乗（車椅子，ストレッチャー）	演習	予習：看護技術論第7回「移乗・移送」 の授業資料を復習する。 テキスト「基礎看護技術Ⅱ，第4章活 動・休息援助技術 基本的活動の援助 ③」を読む。 復習：まとめレポートを記載する。 車椅子，ストレッチャーへの移乗の技術 を復習する。	箕輪，他
14	移送（車椅子，ストレッチャー）	演習	予習：看護技術論第7回「移乗・移送」 の授業資料を復習する。 テキスト「基礎看護技術Ⅱ，第4章活 動・休息援助技術 基本的活動の援助 ③」を読む。 復習：まとめレポートを記載する。 車椅子，ストレッチャーでの移送の技術 を復習する。	箕輪，他
15	まとめ	講義	予習：これまでの授業資料を振り返り， 理解が足りない点など無いか確認する。 復習：15回の授業を振り返り，自己の 課題をまとめ，技術練習をする	箕輪

## 5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）60%，技術チェック20%，提出物10%，授業への参加度10%により総合的に評価する。ただし技術チェックは80点以上を合格とし，合格しなければ総合評価を受けられない。

評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。

尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法、技術チェックの課題及び実施要項は事前に口頭と文書で提示する。

提出物の配点内訳(事前課題と演習まとめレポート),①手指衛生(25%),②体位変換・安楽な体位(25%),③臥床患者のシーツ交換(25%),④車いす・ストレッチャーへの移乗,移送(25%)。

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 茂野香おる：系統看護学講座 基礎看護学 2 基礎看護技術Ⅰ（最新版） 医学書院  
2) 有田清子：系統看護学講座 基礎看護学 3 基礎看護技術Ⅱ（最新版） 医学書院  
3) 医療情報科学研究所：看護がみえる vol.1 基礎看護技術（最新版），メディックメディア その他，適宜紹介する。

## 7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

指定された範囲について最低90分の予習および，最低90分の授業内容の復習を行う。また，実践可能な技術修得のため授業時間外で自主練習を行う。

## 8. 受講上の留意事項

1年次の「看護体験実習」の先修科目である。

演習は，NSTC 使用ガイドに沿うこと。

演習時は臨地実習と同様の身だしなみをする。

安全確保のため演習中は教員の指示に従うこと。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

課題提出物は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求めることがある。実技試験の結果は掲示により伝達する。筆記試験については終了後に解答について説明する。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合は進級不可となる。

## 11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。